

財団法人設立趣意書

平成元年3月17日

財団法人富津市施設利用振興公社

住所 千葉県富津市湊260

設立者 富津市

富津市長 黒坂 正則

富津市は、自然環境に恵まれた田園都市として、その地理的条件を生かしたまちづくりを推進しています。

そして、「人と自然と産業が調和した活力ある豊かなまち」づくりを基本的将来像として、昭和60年9月に富津市基本構想を策定し、また翌昭和61年3月には昭和65年度を目標年次とする基本計画を策定して、各種施策の実現に積極的に取り組んでいます。

その施策の一環として、地域住民の健康の保護増進と生活環境の維持保全を目的に各種公園緑地等の計画的整備を実施しています。

特に、富津緩衝緑地は昭和63年9月までに約42haが完成し、その中心的位置付けをなすゾーンは既に完成しました。

この緑地は広く地域住民のレクリエーションの場として利用できる公園施設であり、かつ、野球場、陸上競技場、庭球場などのスポーツ施設を併設しています。また、今後も本市では各種文化・体育施設を拡充の予定であり、施設が多様化・高度化する昨今、その設置目的を達成するには、施設利用を高め、市民の健康と体育の向上を図らねばなりません。

一方、市内公共施設は各行政機関ごとに管理・運営されており、市民サービスの向上を図るには、窓口を一本化した一元的管理・運営体制が必要であります。また、一連の行財政改革の中で、公共施設の管理・運営に要する経費の節減を目指し、効率的な管理・運営方法を採用する必要もあります。

よって「財団法人富津市施設利用振興公社」を設立し、市内公園緑地等の管理運営を一元化し一層の効率化を図り、かつ、スポーツ・レクリエーション施設の円滑・健全な利用の促進を目指し、もって住民生活の向上、住民福祉の増進に寄与しようとするものであります。